

令和元年度 中小企業の振興に関する施策の実施状況

令和 3 年 2 月

岩手県商工労働観光部

1 公表の考え方

- ・ 中小企業振興条例の規定に基づき、知事は毎年度、中小企業の振興に関する施策の実施状況を公表することとしています。

○中小企業振興条例

(施策の実施状況の公表)

第 13 条 知事は、毎年度、中小企業の振興に関する施策の実施状況を公表するものとする。

- ・ また、平成 31 年 3 月に策定された「岩手県中小企業振興第 2 期基本計画」(以下「基本計画」という。)においても、毎年度、前年度の実施状況を取りまとめ、県ホームページを通じて公表することとしています。
- ・ 今回の公表対象期間である令和元年度は、基本計画の期間(令和元年度～4 年度)の初年度となります。
- ・ 中小企業の振興に関する施策の実施状況として、令和元年度に実施した事業を、基本計画が定めている「推進する施策」ごとに分類し、取りまとめる形で記載しています。

2 岩手県中小企業振興第 2 期基本計画の構成

- ・ 基本計画は、「計画の基本的な考え方」、「本県の中小企業・小規模企業者の現状と課題」、「目指す姿及び推進する施策」、「計画推進に向けて」の 4 章により構成されています。
- ・ この基本計画では、計画に基づく施策の実施を通じて企業の目指す姿を次のとおり位置づけ、これらの達成度をはかるための指標(目指す姿指標)を設定しています。

<目指す姿>

～県民が潤いのある豊かな生活を安心して営むことができる社会の実現を目指して～

【目指す姿①】企業の魅力向上

- 県内の中小企業が、付加価値の高い商品やサービスをつくり出すことにより、企業としての魅力を高めています。

【目指す姿②】働きやすい環境

- 県内の中小企業が、働きやすい環境を整備し、やりがいと生活を支える所得が得られる仕事を提供しています。

【目指す姿③】利用の促進

- 県民をはじめ、県外の消費者にも県内中小企業が提供する商品やサービスについての共感が得られ、利用が進んでいます。

これらの取組により県内中小企業の事業活動が活発に展開され、資金、商品・サービス、人材・雇用、資源、エネルギー、情報など、地域の経済を地域で回すことにより、持続可能で活力ある循環型の地域経済の振興が図られています。

- ・ また、基本計画では、目標達成に向け 10 の施策項目を推進することとし、その達成度を図るため施策項目ごとに指標を設定しています。

さらに、これらの施策を具体的に実施するため、施策項目ごとに構成事業を定めています。

【岩手県中小企業振興第2期基本計画の構成（イメージ図）】

第1章 計画の基本的な考え方

- 計画の位置付け・性格、計画期間 **令和元年度⇒4年度**、計画の構成

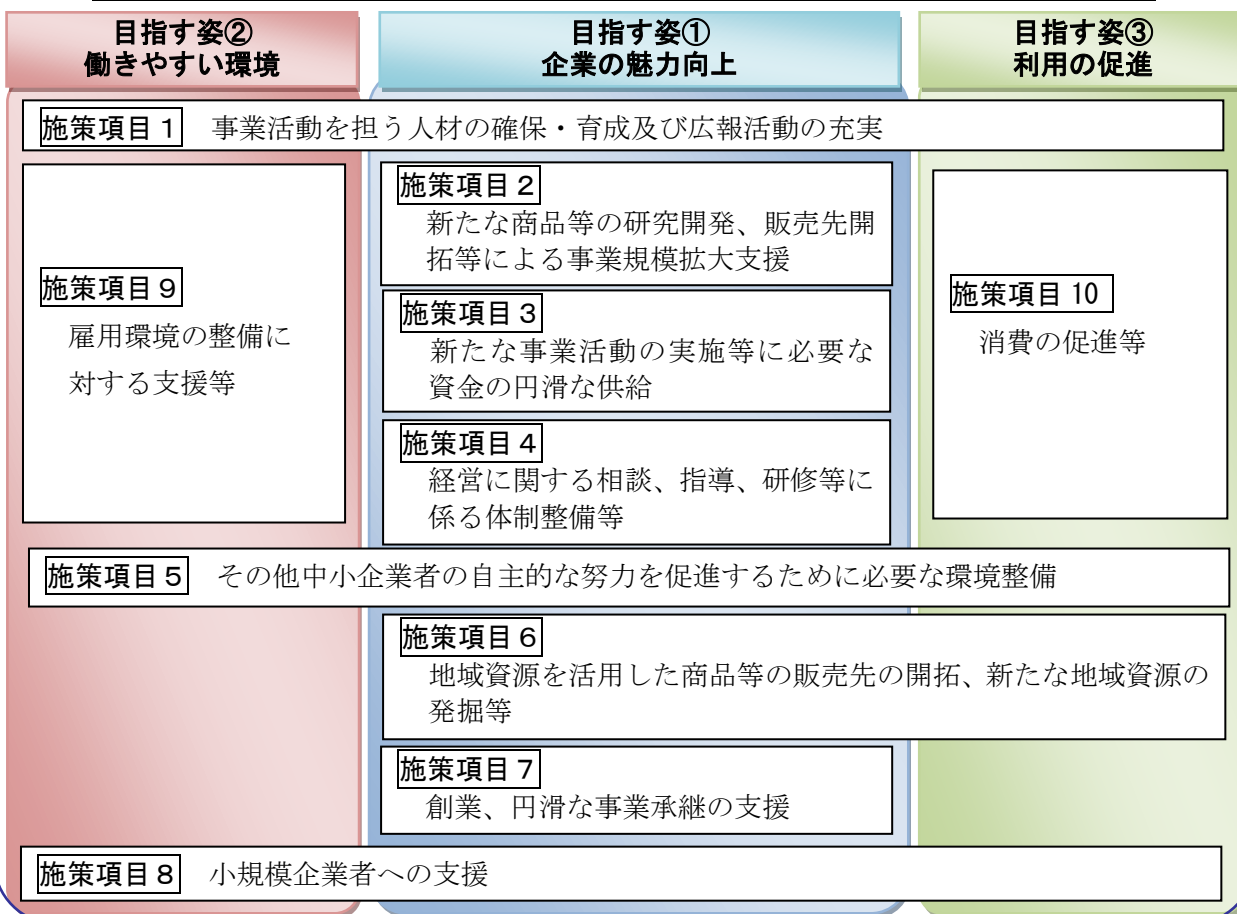
第2章 本県の中小企業・小規模企業者の現状と課題

- 中小企業者を取り巻く状況（経済の状況、東日本大震災津波による被害状況、人口展望）
- 本県の状況（企業数の推移、開業率・廃業率、県内総生産の推移、製造品出荷額の推移等）
- 前計画における中小企業・小規模企業者施策の主な実施内容

第3章 目指す姿及び推進する施策

目指す姿①:企業の魅力向上 目指す姿②:働きやすい環境 目指す姿③:利用の促進

⇒目指す姿①・②・③の好循環により持続可能で活力ある地域経済の振興



第4章 計画推進に向けて

- 推進体制（行政に加え産業支援機関（※）、大学や試験研究機関、国等とも適切に連携）
- 市町村との連携（各市町村の中小企業振興施策と連携）
- 施策の実施状況の公表と計画の見直し（実施状況について、毎年度取りまとめ公表） 等

※ 産業支援機関

本計画の実施を支援する、岩手県商工会議所連合会、各商工会議所、岩手県商工会連合会、各商工会、岩手県中小企業団体中央会、（公財）いわて産業振興センター、岩手県中小企業家同友会、県内金融機関等の総称。

3 令和元年度中小企業振興に関する施策の概要

- ・ 中小企業振興に関する施策を推進するため、令和元年度は **145 事業**を実施し、決算額は計 **114, 471, 643 千円**となりました。
- ・ 平成 30 年度（126 事業実施、決算額 計 117, 097, 453 千円）と比較すると 2, 625, 810 千円の減となりました。この主な要因は、県制度による設備資金などの需要が、東日本大震災津波からの復興が進展したことなどにより減ったためです。

※ 今回の公表対象とした事業は、令和元年度の中小企業振興に関する施策を、基本計画の施策項目ごとに分類して取りまとめたものです。

【施策項目ごとの事業数・決算額内訳】

施策項目	事業数	令和元年度 決算額（千円）
(1) 事業活動を担う人材の確保・育成及び広報活動の充実	13 (36)	107, 144 (3, 255, 211)
(2) 新たな商品・役務の開発、研究成果の事業化、新たな販売先の開拓等による事業規模の拡大等の支援	13 (26)	271, 247 (1, 789, 287)
(3) 新たな事業活動の実施等に必要な資金の円滑な供給	6 (7)	26, 113, 924 (100, 091, 002)
(4) 経営に関する相談、指導、研修等に係る体制整備等	1 (14)	16, 100 (2, 934, 870)
(5) その他中小企業者の自主的な努力を促進するために必要な環境整備	27 (67)	80, 632, 196 (238, 834, 170)
(6) 地域資源を活用した商品・役務の販売先の開拓、新たな地域資源の発掘等	30 (43)	1, 526, 331 (1, 715, 816)
(7) 創業、円滑な事業承継の支援	6 (18)	1, 282, 562 (4, 264, 921)
(8) 小規模企業者への支援	2 (35)	1, 329, 245 (31, 821, 431)
(9) 雇用環境の整備に対する支援等	21 (28)	918, 433 (1, 014, 184)
(10) 消費の促進等	26 (38)	2, 274, 461 (2, 493, 252)
合計	145	114, 471, 643

※ 上記（ ）内の数値は、複数の施策項目に再掲事業として掲載しているものを全て合計したもの

- ・ 個別事業の実施状況については、「令和元年度 中小企業の振興に関する施策の実施状況一覧表」のとおりです。

【参考】達成度の判定について

達成度については、令和元年度主要施策の成果に関する説明書（R 2.10）の記載に基づき、目標値に対する達成率（％）に応じて下表のとおり判定しています。

目標達成率	100％以上	80％以上100％未満	60％以上80％未満	60％未満
達成度	達成【A】	概ね達成【B】	やや遅れ【C】	遅れ【D】

[目標達成率の計算式]

- ① 通常の指標（H29 現状値から数値を上げる目標の場合）
 $(R1 \text{ 実績値} - H29 \text{ 現状値}) / (R1 \text{ 目標値} - H29 \text{ 現状値}) \times 100$
- ② 維持指標等（H29 現状値を維持する目標等）
 $(R1 \text{ 実績値}) / (R1 \text{ 目標値等}) \times 100$
- ③ 震災を踏まえた目標設定とした場合など、①・②の計算式により難しい場合
 $(R1 \text{ 実績値}) / (R1 \text{ 目標値}) \times 100$

（「㊸」等の表記は、当該年度以外の実績・目標値を示す。）

4 目指す姿指標の達成状況

【目指す姿①】 企業の魅力向上

（指標）従業員一人当たりの付加価値額（千円）

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
㊸5,983	㊸5,983	㊸5,727	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	㊸6,164

【目指す姿②】 働きやすい環境

（指標）総実労働時間 [年間]（時間）

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
1,858.8	1803.6	1812.0	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	1,720.8

（指標）高卒者の県内就職率（％）

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
65.8	84.5	68.5	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	84.5

【目指す姿③】 利用の促進

（指標）県の官公需契約件数に占める中小企業との契約件数の割合（％）

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
89.1	90.0	87.5	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	91.5

5 施策項目ごとの指標の達成状況

施策項目1 事業活動を担う人材の確保・育成及び広報活動の充実

【推進した施策】

- ものづくり産業人材の育成・確保・定着
- 建設業の将来を担う人材の確保、育成
- 情報通信技術（ICT）人材の育成
- 科学技術の理解増進と次代を担う人材の育成
- 地域産業の国際化に貢献する人材の育成
- キャリア教育の推進とライフデザイン能力の育成
- 高等教育機関との連携による地域課題解決に向けた取組の推進
- 地域をけん引する人材の育成と若者定着の促進
- 県内就業の促進及びU・Iターンによる人材確保の推進
- 若者をはじめとする起業者や後継者の育成による経営人材の確保
- 伝統工芸産業、漆産業、アパレル産業の経営力向上への支援
- 売れる観光地をつくる体制の整備促進
- 若者の活躍支援

【主な取組状況】

■ものづくり産業人材の育成・確保・定着

- ・地域ものづくりネットワーク等(※)と連携し、小学生から社会人に至るまでの各段階に応じた人材育成や地域企業の理解促進を進めます。
- ・企業情報の発信、工場見学、インターンシップ等を通じた新卒者等の県内定着や、U・Iターンの促進により、県内ものづくり産業全体の人材確保・定着を進めます。

計画における指標

地域ものづくりネットワーク等と連携した工場見学への参加高校生数（人）（延べ）

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
1,879	1,900	1,652	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	1,900

※ 地域ものづくりネットワーク

ものづくり人材育成の推進を目的に設立された産学官によるネットワーク組織。県内の5地域（北上川流域、宮古、釜石、気仙、県北）で組織されている。

三次元設計開発技術を習得した高校生数（単位：人）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
63	65	102	達成【A】 (100%以上)	290

■建設業の将来を担う人材の確保、育成

建設現場における技術力の向上に向けて、関係機関と連携した講習会の実施や、建設分野への情報通信技術（ICT）の普及・拡大を図っています。

計画における指標

若者、女性の活躍推進、経営力強化を目的とする講習会の受講者数（単位：人）〔累計〕〔再掲〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
962	1,000	1,127	達成【A】 (100%以上)	4,000

■情報通信技術（ICT）人材の育成

ドローンやモーションキャプチャなど最新の情報通信技術（ICT）を体験できる県民向けフェア、オープンデータやIoT（※）等に関する企業や市町村職員等向けセミナーの開催等によりICTの普及啓発やICT人材の育成に取り組んでいます。

※ IoT

Internet of Things（モノのインターネット）の略。様々なモノがインターネットに接続され、情報交換することにより相互に制御する仕組み。

計画における指標

ICTセミナー受講者数（単位：人）〔累計〕〔再掲〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値（R4）
93	180	241	達成【A】 (100%以上)	780

■科学技術の理解増進と次代を担う人材の育成

最先端の科学技術に触れる機会の提供等を通じて、科学技術に関する興味や関心を高めることなどにより、本県の多様な資源と技術を生かした研究開発を担う人材の育成に取り組んでいます。

計画における指標

科学技術普及啓発イベント等来場者数（単位：人）

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値（R4）
⑩7,667	7,700	7,743	達成【A】 (100%以上)	8,000

■地域産業の国際化に貢献する人材の育成

・学生の国際的視野を養うため、企業や団体、高等教育機関、行政など産学官が一体となった「いわてグローバル人材育成推進協議会」を活用し、学生の海外留学や、留学に向けた地域課題を把握するための地元企業等へのインターンシップを支援しています。

・外国人留学生やJETプログラム経験者の県内就職を促進するため、県内企業と留学生等のマッチングやインターンシップの機会を提供しています。

計画における指標

いわてグローバル人材育成推進協議会の支援制度を利用して海外留学した学生数（単位：人）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値（R4）
⑩5	5	8	達成【A】 (100%以上)	20

グローバルキャリアフェアの参加者数（単位：人）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値（R4）
⑩49	51	42	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	216

■キャリア教育の推進とライフデザイン能力の育成

・各学校が作成した「キャリア教育全体計画」に基づき、主体的に進路を選択し、社会人・職業人として自立するための能力を育成するため、キャリア教育を一層推進し、社会人講師によるライフデザインに関する講演や社会人との交流会等に取り組んでいます。

・児童生徒、保護者、教員の地域企業等への理解や関心を高めるため、県内の産業界等と連携し、企業見学会や企業ガイダンスの開催などに取り組んでいます。

計画における指標

将来希望する職業（仕事）について考えている高校2年生の割合（単位：％）

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
55	57	45	遅れ【D】 (60%未満)	65

- 将来希望する職業（仕事）について考えている高校2年生の割合は、各高等学校では企業見学や就業体験、社会人講話、企業ガイダンスなど多様な取組を通じて、生徒が職業を知る機会を設定してきましたが、生徒が職業について早い段階から考えるための取組が少なかったことなどを一因に、達成度は【D】となりました。

<今後の方向>

キャリア教育を一層推進し、企業・関係団体等との連携による社会人講話や企業見学等の実施やキャリア・パスポートの活用により、キャリア教育の質の向上と充実に取り組めます。

■高等教育機関との連携による地域課題解決に向けた取組の推進

東日本大震災津波からの復興やふるさと振興を進める上での様々な地域課題の解決に向けて、高等教育機関の専門的知識を活用した共同研究を推進するほか、プラチナ社会の構築をはじめとした新たな仕組みを地域に定着させるための取組などを展開しています。

計画における指標

地域課題解決を目的とした県内高等教育機関との共同研究数（単位：件）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
13	15	14	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	60

■地域をけん引する人材の育成と若者定着の促進

県内大学生等の卒業後の地元定着を高めるため、産学官連携による地元企業の魅力向上を図るとともに、県内企業と大学生等との交流機会の創出等による地元定着の意識の醸成に取り組んでいます。

計画における指標

県内企業等へのインターンシップ参加者数（単位：人）

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
678	700	548	遅れ【D】 (60%未満)	745

- 県内企業等へのインターンシップ参加者数は、県内大学生等の地元定着の促進のため、県内企業等の魅力をPRする「ふるさと発見！大交流会 in Iwate」を平成30年度に引き続き開催するなど、県内企業の魅力を伝える機会を設けてきましたが、首都圏を中心とする県外企業の旺盛な採用活動の影響による県外就職の割合の増加などを背景として、インターンシップ先として県内企業を選択する学生が減少したため、達成度は【D】となりました。

＜今後の方向＞

県内学生等と県内企業との交流機会の充実など、高等教育機関や自治体、企業、NPO等が連携し、県内企業の魅力を伝える取組を継続して実施していくことで、県内学生等の地元定着意識を醸成します。

計画における指標

県内大学等卒業者の県内就職率（単位：％）

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
45.3	48.5	43.8	遅れ【D】 (60%未満) ※	51.5

※ $(43.8-45.3) / (48.5-45.3) \times 100 = \Delta 46.875 : 60\% \text{未満 [D]}$

- 県内大学等卒業者の県内就職率は、県内大学等の卒業生の地元定着を促進するため、県内企業等の魅力をPRする「ふるさと発見！大交流会 in Iwate」を平成30年度に引き続き開催するなど、県内企業の魅力を伝える機会を設けてきましたが、首都圏を中心とした県外企業の旺盛な採用活動の影響により、達成度は【D】となりました。

＜今後の方向＞

高等教育機関や産業界と連携し、県内就職率の向上に向けた分析や取組を進めるとともに、県内学生等と県内企業との交流機会の充実など、関係機関・団体と連携し、県内企業の魅力を伝える取組を継続して実施していくことで、県内学生等の地元定着意識を醸成します。

■ 県内就業の促進及びU・Iターンによる人材確保の推進 [再掲]

(施策項目9を参照)

■ 若者をはじめとする起業者や後継者の育成による経営人材の確保

若者の起業マインドの醸成や、後継者の経営能力の向上を図るための取組を大学や商工指導団体等と連携して行っています。

計画における指標

商工指導団体による創業指導回数（単位：回）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
300	300	504	達成【A】 (100%以上)	1,200

いわて起業家育成資金の貸付件数（単位：件）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
76	90	92	達成【A】 (100%以上)	360

■ 伝統工芸産業、漆産業、アパレル産業の経営力向上への支援 [再掲]

(施策項目6を参照)

■売れる観光地をつくる体制の整備促進 [再掲]

(施策項目 10 を参照)

■若者の活躍支援

若者が地域の課題解決を目指して、自由な発想で考え、話し合い、次への活動につながられるよう、地域づくり、ボランティア、起業、文化等の多様な分野で活躍する若者の交流促進を図り、若者同士のネットワークづくりの支援に取り組みます。

計画における指標

いわて若者交流ポータルサイト登録団体数 (単位: 団体) [累計]

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
62	73	79	達成【A】 (100%以上)	91

施策項目 2 新たな商品・役務の開発、研究成果の事業化、新たな販売先の開拓等による事業規模の拡大等の支援

【推進した施策】

- 中小企業者が行う経営力の強化や生産性の向上、新たな事業活動などの取組の促進
- 市町村や商店街をはじめとする多様な主体の連携によるまちのにぎわい創出
- 産業の一層の集積と高度化を通じた、ものづくりのグローバル拠点化の推進
- 地域経済の好循環をもたらす地域クラスターの拡大促進
- 企業間・産学官連携を通じた関連技術の開発などによる新産業の創出
- 企業の生産性や付加価値の向上にむけた「ものづくり革新」への対応
- 食産業の新たな事業活動の取組や販路開拓への支援
- 水産加工業の商品力向上や販路開拓、生産性向上への支援
- 伝統工芸産業、漆産業、アパレル産業の経営力向上への支援

【主な取組状況】

■中小企業者が行う経営力の強化や生産性の向上、新たな事業活動などの取組の促進

中小企業者が、社会経済環境の変化に的確に対応し、新分野への進出、新商品の開発など新たな事業活動に取り組めるよう、産業支援機関と連携して「経営革新計画 (※)」の策定を支援しています。

※ 経営革新計画

「中小企業等経営強化法」に基づき、事業者が新事業活動を行うことにより、その経営の相当程度の向上を図ることを目的として作成する計画。この計画の承認を受けることにより、県の融資制度等による支援措置を受けることが可能となる。

計画における指標

経営革新計画承認件数 (件) [累計]

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
549	629	662	達成【A】 (100%以上)	750

計画における指標

商工指導団体による指導を受けた企業・組合数（企業・組合）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
37,000	37,000	43,203	達成【A】 (100%以上)	148,000

■市町村や商店街をはじめとする多様な主体の連携によるまちのにぎわい創出

地域に密着した商業・サービス業者等の持続的発展を図るため、市町村や商工指導団体と連携して、付加価値の高い商品やサービスの創出、生産性の向上の取組を支援しています。

計画における指標

商業・サービス業者に対する専門家利用企業数（企業）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
97	100	167	達成【A】 (100%以上)	400

計画における指標

にぎわいや魅力づくりにつながる活動に取り組む商店街の割合（％）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②742.6	63.0	69.5	達成【A】 (100%以上)	75.0

■産業の一層の集積と高度化を通じた、ものづくりのグローバル拠点化の推進

・自動車関連産業については、展示商談会の開催、設備投資支援、次世代モビリティの研究開発・事業化支援等を通じて、県内における一層の産業集積を図るとともに、岩手の優れたクルマづくり技術のグローバル展開を促進し、地場企業の更なる業容拡大・技術力向上につながる取組を支援しています。

・半導体関連産業については、地場企業の技術力向上等を支援し、誘致企業をはじめとする関連企業との協業・取引拡大につながる取組を推進するとともに、県内大学等と連携し、社会人や県内の学生を対象とした技術習得や教育訓練を実施する等、世界的に拡大している半導体市場を的確に捉えた取組を推進し、中核産業としての成長力を高めています。

計画における指標

地場企業の自動車関連取引成約件数（件）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
36	35	35	達成【A】 (100%以上)	140

地場企業の半導体関連取引成約件数（件）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
48	30	25	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	120

■地域経済に好循環をもたらす地域クラスターの拡大促進

地場企業の技術高度化や新技術開発等の取組を支援し、国内外に一定のシェアを持つ県内各地の中核的企業と地場企業群とのサプライチェーンの構築につなげ、さらには、形成した地域クラスターの拡大を促進しています。

計画における指標

クラスターに新規に参加する地場企業数（社）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
4	4	4	達成【A】 (100%以上)	16

クラスター参入企業における新規取引件数（件）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
4	5	5	達成【A】 (100%以上)	20

■企業間・産学官連携を通じた関連技術の開発などによる新産業の創出

- ・医療機器、ロボットなどの新たな産業分野への県内企業の参入を促進するため、企業間連携や産学官連携による関連技術開発、販路開拓等の取組を支援しています。
- ・航空機、加速器関連などの将来成長が見込める有望な産業については、産業支援機関等と連携し、情報収集や地場企業のニーズ把握等を進めています。

計画における指標

医療機器関連取引成約件数（件）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
9	8	11	達成【A】 (100%以上)	32

医療関連機器等の新製品開発件数（件）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
1	2	4	達成【A】 (100%以上)	8

産学官連携によるロボット開発件数（件）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
2	1	2	達成【A】 (100%以上)	4

■企業の生産性や付加価値の向上に向けた「ものづくり革新」への対応

企業の生産性や付加価値の向上に向けて、生産現場におけるカイゼン、3S、カラクリ等の取組を支援します。

計画における指標

ものづくり関連分野（輸送用機械、半導体製造装置、電子部品・デバイス等）の付加価値額（百万円）

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
⑳385,425	㉑397,074	㉒495,036	達成【A】 (100%以上)	㉓415,212

創意工夫功労者賞（※）受賞者数（人）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
32	40	28	やや遅れ【C】 (60%以上 80%未満)	160

- 創意工夫功労者賞受賞者数〔累計〕は、新規応募企業の掘り起こしなど周知活動強化に努めたものの、前年同様、業務繁忙と人手不足により応募まで手が回らない企業が多く、応募企業数が前年を下回る10社となり、その結果応募者数も75名に減少した結果、受賞者数は28名となり、達成度は【C】となりました。

<今後の方向>

新規応募企業の掘り起こしの更なる強化とともに、創意工夫のポイントや応募書類の書き方など応募検討企業へのきめ細かな支援を行い、応募企業のすそ野拡大と応募者数の増加を図り受賞者数の目標達成を目指します。

※ 創意工夫功労者賞

優れた創意工夫により職域における技術の改善向上に貢献した者を対象にした文部科学大臣が表彰する賞のこと。

■食産業の新たな事業活動の取組や販路開拓への支援

（施策項目6を参照）

■水産加工業の商品力向上や販路開拓、生産性向上への支援

沿岸地域の主要産業である水産加工業が抱える原材料の調達や労働力の確保といった課題に対応するため、関係機関と連携しながら相談会等による商品開発、商談会やフェア等による販路開拓、カイゼンによる生産性向上及び人材育成などに取り組んでいます。

計画における指標

商品開発等の支援を受けた水産加工業者件数（件）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
35	40	59	達成【A】 (100%以上)	160

国内の食の商談会等出展者（水産加工業）数（者）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
99	105	108	達成【A】 (100%以上)	420

■伝統工芸産業、漆産業、アパレル産業の経営力向上への支援 [再掲]
 (施策項目 6 を参照)

施策項目 3 新たな事業活動の実施等に必要な資金の円滑な供給

【推進した施策】

○企業のライフステージに対応した切れ目のない金融支援

【主な取組状況】

■企業のライフステージに対応した切れ目のない金融支援

中小企業者の事業活動に必要な資金や、県内中小企業が経営の安定に支障を来す恐れのある場合に、運転資金など経営改善の取組に必要な資金の貸付を行っています。

また、経営の革新等により今後の成長や周辺企業への波及効果が期待される中小企業の設備投資を支援するため、(公財) いわて産業振興センターが行う設備貸与事業に要する事業原資の貸付を行っています。

計画における指標

商工観光振興資金及び中小企業成長応援資金の貸付件数 (件) [累計]

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
758	700	850	達成【A】 (100%以上)	2,800

計画における指標

設備貸与制度の利用実績 (件) [累計]

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
60	30	34	達成【A】 (100%以上)	120

施策項目 4 経営に関する相談、指導、研修等に係る体制整備等

【推進した施策】

- 中小企業者が行う経営力の強化や生産性の向上、新たな事業活動などの取組の促進
- 商工指導団体や金融機関などの支援機関連携による事業承継の円滑化に向けた取組の促進
- 市町村や商店街をはじめとする多様な主体の連携によるまちのにぎわい創出
- 建設業における労働環境の整備、技術力・生産性の向上、経営基盤強化

【主な取組状況】

■中小企業者が行う経営力の強化や生産性の向上、新たな事業活動などの取組の促進[再掲]
(施策項目 2 を参照)

■商工指導団体や金融機関などの支援機関連携による事業承継の円滑化に向けた取組の促進[再掲]
(施策項目 7 を参照)

■市町村や商店街をはじめとする多様な主体の連携によるまちのにぎわい創出[再掲]
(施策項目 2 を参照)

■建設業における労働環境の整備、技術力・生産性の向上、経営基盤強化

・社会資本の整備や維持管理、災害時の対応を担う地域の建設企業における建設技能労働者の確保に向け、建設業の魅力の発信等に取り組むほか、建設現場における労働環境の改善に向けた意識啓発に取り組み、若者や女性等が働きやすい労働環境の整備を促進しています。

・建設現場における生産性の向上に向け、建設分野への情報通信技術（ICT）の普及・拡大を図っています。

・県内建設業の総合対策としてのいわて建設業振興中期プランに基づき、地域の建設企業の経営基盤の強化や経営革新のほか、新分野・新事業に取り組む企業に対する支援等を行っています。

計画における指標

若者、女性の活躍推進、経営力強化を目的とする講習会の受講者数（人）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
962	1,000	1,127	達成【A】 (100%以上)	4,000

ICTを活用した県営建設工事の実施数（件）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
14	28	38	達成【A】 (100%以上)	50

経営支援センターの助言等による新事業立ち上げ企業数（社）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
120	126	126	達成【A】 (100%以上)	135

施策項目5 中小企業者の自主的な努力を促進するために必要な環境整備

【推進した施策】

- 被災した水産加工業者に対する支援
- 三陸の多様な資源を生かした産業振興に向けた支援
- 三陸の多様な資源を生かした研究開発の推進
- 企業誘致等による地域産業の拠点化・高度化の推進
- 廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用の推進
- 国際研究拠点の形成と関連インフラの整備
- イノベーションの創出に向けた研究開発の推進
- ICT利活用による地域課題の解決と県民利便性の向上

【主な取組状況】

■被災した水産加工業者に対する支援[再掲]

(施策項目5「被災企業の事業再開の推進」を参照)

■三陸の多様な資源を生かした産業振興に向けた支援

三陸の多様な資源を生かした産業の振興が図られるよう、復興まちづくりに合わせて、若者や女性をはじめとした被災地での起業、第二創業、新事業進出等の新たなビジネスの立上げを支援するとともに、起業家等の経営支援や資金調達支援等に取り組んでいます。

計画における指標

さんりくなりわい創出支援事業における支援事業者数（者）

R1 実績値	計画値 (R1・R2計)
22	50

被災中小企業重層的支援事業による支援実施団体数（団体）

R1 実績値	計画値 (R1・R2計)
7	14

■被災企業の事業再開の推進

複数の中小企業等が一体となって、サプライチェーンの回復、地域の産業集積、商業集積機能の維持・再構築を図る場合に、当該事業に必要な施設・設備の復旧・整備を支援しています。

また、産業支援機関と連携し、経営の安定化を支援するとともに、事業計画策定等の支援を通じて、事業再開した被災地の中小企業者の販路開拓や売上増加に向けた取組を支援しています。

計画における指標

岩手県産業復興相談センター相談受付件数（件）

R1 実績値	計画値 (R1・R2 計)
38	71

二重債務対策支援件数（件）

R1 実績値	計画値 (R1・R2 計)
25	12

中小企業東日本大震災復興資金貸付金による融資額（億円）

R1 実績値	計画値 (R1・R2 計)
358	569

新しい三陸の地域産業展開事業によるカイゼン導入企業数（社）

R1 実績値	計画値 (R1・R2 計)
37	50

新しい三陸の地域産業展開事業による被災企業経営相談回数（回）

R1 実績値	計画値 (R1・R2 計)
124	200

■企業誘致等による地域産業の拠点化・高度化の推進

・企業間連携などを通じて既立地企業の業容拡大を支援するとともに、特に地域の産業経済の中核となる企業については、研究開発や情報処理部門をはじめとする本社機能や関連企業の移転・拡充の促進により、県内における一貫生産体制の構築と地域中核企業の一層の拠点化を進めています。

・県北・沿岸地域においては、多様な就業の場を確保するための新規誘致や既立地企業の業容拡大に加え、地域全体の産業競争力の強化のため、地場企業を含めた生産性・技術力の向上や人工知能（AI）・IoTなどの導入を支援しながら、地域産業の高度化に取り組んでいます。

計画における指標

新規立地・増設件数（件）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
29	25	30	達成【A】 (100%以上)	100

県北・沿岸地域における新規立地・増設件数（上記指標の内数）（件）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
6	5	4	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	20

■多様なものづくりの風土の醸成

個人がデジタル工作機器等に触れることができる「ファブテラスいわて」の利用拡大等により、ものづくりが身近になることで、独創的なアイデアを製品開発や起業に結び付けられるような多様なものづくり風土の醸成を図っています。

計画における指標

ファブテラスいわての利用者数（人）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
-	960	1,119	達成【A】 (100%以上)	3,840

計画目標値はR1からの累計

■廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用の推進

事業者による3R（※）を促進するため、廃棄物の発生抑制等に資する技術や製品の開発など新たな環境産業の創出や環境に配慮した事業活動を支援しています。

※ 3R
Reduce（リデュース：廃棄物の発生抑制）、Reuse（リユース：再使用）、Recycle（リサイクル：再生利用）の3つの英語の頭文字をとったもの。3つのRに取り組むことでごみを限りなく少なくし、環境への影響を極力減らし、限りある地球の資源を有効に繰り返し使う社会（＝循環型社会）をつくらうとするもの。

計画における指標

事業者等の3R推進の取組に対する支援実施件数（件）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
101	113	118	達成【A】 (100%以上)	131

■国際研究拠点の形成と関連インフラの整備

・「ILCによる地域振興ビジョン」を策定し、国際研究拠点の形成や海外研究者等の受入れに向けて、医療・教育などの生活環境整備について調査検討を行うとともに、技術セミナー等による県内企業の加速器関連産業への参入支援や人材育成、地域資源を活用したエコ社会の実現に向けた共同研究等に取り組んでいます。

・いわて海洋研究コンソーシアム（※）をはじめ、県内のみならず、海外の研究機関との連携や新しい研究機能の誘致活動を推進し、海洋分野の国際研究拠点の形成に取り組めます。

※ いわて海洋研究コンソーシアム

海洋研究機関等のネットワーク強化による研究プロジェクトの創出や研究者の集積を図ることにより沿岸地域における産業の活性化に寄与することを目的に、東京大学大気海洋研究所をはじめとする沿岸地域に立地する海洋研究機関と地域の行政、商工団体等により平成 21 年（2009 年）7 月に設立。

計画における指標

研究者等調査対応件数（件）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
10	14	25	達成【A】 (100%以上)	75

加速器関連産業における共同研究開発件数（件）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
4	1	1	達成【A】 (100%以上)	4

三陸海域論文知事表彰応募件数（件）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
③010	10	6	やや遅れ【C】 (60%以上 80%未満)	40

- 三陸海域論文知事表彰応募件数〔累計〕は、岩手海洋研究コンソーシアム参画機関及び海洋関係学会による関係者への周知や、海洋研究成果のフィードバック講座による海洋研究への理解増進に取り組みましたが、三陸海域における震災関連の研究需要が落ちてきたことや、過去の受賞者が応募を控える場合もあり、達成度は【C】となりました。

<今後の方向>

引き続き関係機関と連携して論文の応募について周知し、過去の受賞者の積極的な応募を呼び掛けるとともに、新たな応募者の発掘に努めます。

■イノベーションの創出に向けた研究開発の推進

ものづくり産業や農林水産業をはじめとする各分野における課題解決を図るため、先端科学技術の成果の生産現場導入を推進しています。また、本県の多様な資源と技術を生かした研究シーズの創出・育成に向け、研究開発基盤の強化、資金支援、産学官金連携の取組を推進しています。

計画における指標

特許出願等相談件数（件）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
1,599	1,625	1,625	達成【A】 (100%以上)	1,700

県の支援による科学技術に関する競争的資金獲得件数（件）

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
10	10	10	達成【A】 (100%以上)	10

公設試験研究機関における産学官共同研究数（件）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
120	122	122	達成【A】 (100%以上)	500

■ ICT利活用による地域課題の解決と県民利便性の向上

企業や子育て支援団体等にICTの専門家を派遣し、ICTの利活用による業務改善や情報発信等についてアドバイスを行っています。また、最新のICTの利活用事例に関するフェアやセミナーの開催により、県民や市町村、企業等への普及啓発を行っています。

計画における指標

ICTフェア来場者数（人）

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
③0479	520	558	達成【A】 (100%以上)	640

ICTセミナー受講者数（人）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
93	180	241	達成【A】 (100%以上)	780

施策項目6 地域資源を活用した商品・役務の販売先の開拓、新たな地域資源の発掘等

【推進した施策】

- 食産業の新たな事業活動の取組や販路開拓への支援
- 伝統工芸産業、漆産業、アパレル産業の経営力向上への支援
- 「観光で稼ぐ」地域づくりの推進 ○質の高い旅行商品の開発・売込み
- 快適に暮らせる良質で環境に配慮した居住環境づくり
- 県産農林水産物の高付加価値化と販路の開拓・拡大の推進
- 県産農林水産物の評価・信頼の向上
- 戦略的な県産農林水産物の輸出促進と外国人観光客等への対応
- 生産者と消費者の結びつきを深め、地域経済の好循環を創出する取組の推進
- 温室効果ガス排出削減対策の推進 ○再生可能エネルギーの導入促進
- 地球温暖化に伴う気候変動の影響への適応

【主な取組状況】

■食産業の新たな事業活動の取組や販路開拓への支援

本県食産業振興の協働体制であるプラットフォーム「FCP岩手ブランチ」(※) (構

成員：企業、生産者、産業支援機関、行政等）などの活動を通じて、農商工連携や事業者間連携を促進しています。

※ フード・コミュニケーション・プロジェクト（FCP）
農林水産省が提唱しているもので、食品事業者が主体的に行う「食の安全・安心」の活動を“見える化”することにより、食に対する消費者の信頼向上や、企業業績の向上につなげようとする取組。

計画における指標

国内の食の商談会等出展者数（者）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値（R4）
524	500	515	達成【A】 (100%以上)	2,000

国内の食の商談会有望取引件数（件）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値（R4）
535	500	477	達成【B】 (80%以上 100%未満)	2,000

■伝統工芸産業、漆産業、アパレル産業の経営力向上への支援

- ・伝統工芸産業の更なる振興に向けて、ライフスタイルの変化を見据えた新商品開発や、展示販売会等を通じた新たな購買層の開拓など事業者の経営力向上を支援しています。
- ・アパレル産業の収益性を向上させるため、縫製技術のレベルアップや新たな販路の開拓等を支援するとともに、国内主要アパレル産地としての認知度の向上により担い手の確保を支援しています。

計画における指標

岩手県が実施する物産展・展示販売会等への伝統工芸産業事業者の出展者数（延べ）（者）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値（R4）
161	210	217	達成【A】 (100%以上)	240

岩手県が実施する物産展・展示販売会等での漆器販売額（万円）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値（R4）
453	475	656	達成【A】 (100%以上)	640

アパレル商談会成約件数（件）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値（R4）
4	10	6	やや遅れ【C】 (60%以上 80%未満)	40

- アパレル商談会成約件数〔累計〕は、消費増税による衣料品の売上高減少を見込んだアパレルメーカーが取引を見合わせるケースが多かったと考えられ、平成29年度から2件増加したものの目標値に達せず、達成度は【C】となりました。

＜今後の方向＞

アパレル産業については、引き続きアパレルメーカーへ商談会などの出展を促し販路開拓を支援します。

■「観光で稼ぐ」地域づくりの推進 [再掲]

(施策項目 10 を参照)

■質の高い旅行商品の開発・売込み [再掲]

(施策項目 10 を参照)

■快適に暮らせる良質で環境に配慮した居住環境づくり

- ・県産木材を活用するなど岩手らしさや高い断熱性能を備えた岩手型住宅の普及、住宅の耐震改修の促進など、快適で安全な住宅の普及を促進します。
- ・地域の魅力を高め、地域を活性化するリノベーションまちづくりの取組を促進します。

計画における指標

新築住宅着工戸数に占める長期優良住宅(※)の割合 (%)

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
10.2	11.3	9.3	遅れ【D】 (60%未満)	13.0

- 新築住宅着工戸数に占める長期優良住宅の割合は、長期優良住宅の認定要件を満たすために工事費が増加することや、申請手続に時間を要することに伴う工事完了の遅れ等の理由で、申請件数が伸び悩んだため達成度は【D】となりました。

※ 長期優良住宅

長期にわたり住み続けられるよう劣化対策や耐震性、維持管理の容易性などの措置が講じられた優良な住宅のこと。

＜今後の方向＞

長期優良住宅制度のメリットについて、ホームページ等により広く周知を図るとともに、建築関係団体の講習会等の機会を捉え、制度説明やパンフレット等を配布することにより、県内中小事業者に周知を図ります。

また、現在、国において、長期優良住宅制度の在り方に関する検討が進められており、その中で、中小事業者が認定制度の市場に参入しやすい施策の検討が進められているところです。こうした国の動向に併せて、認定制度の活用に係る取組を推進することとします。

■県産農林水産物の高付加価値化と販路の開拓・拡大の推進

6次産業化を推進するため、「食のプロフェッショナルチーム」アドバイザーによる商品開発等に関する指導や、「いわて6次産業化支援センター(※)」による事業計画策定等に関するサポート活動など、生産者による取組を支援しています。

※ いわて6次産業化支援センター

県が、生産者等の6次産業化の取組を総合的に支援する目的で設置し、各種サポート活動を行うもの。

計画における指標

6次産業化による販売額（億円）

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
⑳303	㉑334	320	遅れ【D】 (60%未満)	㉓385

- 6次産業化による販売額は、「食のプロフェッショナルチーム」アドバイザーによる商品開発等に関する指導助言や、「いわて6次産業化支援センター」による農林漁業者の事業計画策定等の支援に取り組んだ結果、令和元年度の目標値 334 億円に対し、前年度から約7億円増加したものの、320 億円にとどまり、達成度は【D】となりました。

<今後の方向>

6次産業化の推進により、ウィズコロナ時代における消費者ニーズを踏まえ、県産農林水産物を活用した発信力のある特産品開発等を促進するとともに、農商工連携等を深化させ、付加価値を高めながら消費までつないでいくバリューチェーンの構築に向けた取組を一層推進します。

商品開発等の支援による6次産業化件数（件）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
12	12	12	達成【A】 (100%以上)	48

素材需要量（千m³）

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
1,278	1,305	1,332	達成【A】 (100%以上)	1,346

■県産農林水産物の評価・信頼の向上

- ・県産農林水産物や産地の評価向上を図るため、品質の管理や安定供給を促進するとともに、首都圏や海外において、流通関係者へのトップセールス等を実施するほか、量販店や飲食店等でターゲットとする消費者への販売促進活動を展開しています。
- ・首都圏等において、流通や食品製造業、外食産業等との提携によるキャンペーン・フェアの開催や発信力のある大手企業との連携などを通じて、県産農林水産物の認知度向上に取り組んでいます。

また、県の各種ホームページ、SNSやパブリシティ等を活用した情報発信に加え、関連する企業や雑誌等民間力を活用したクロスメディアを展開しています。

さらに、外国人観光客等に向け、県産農林水産物や食文化の認知度向上とファンの獲得に取り組んでいます。

- ・非住宅分野での県産木材の利用を進めるため、木材製品の展示会への出展を支援しているほか、県内林業関係団体と連携し、文化財の修復用に高品質な県産アカマツを供給するなど、県産木材の新たな需要の創出や販路の拡大に取り組んでいます。
- ・水産物の「三陸ブランド」の確立や産地市場における評価の向上を図るため、衛生品質管理の高度化や水産加工品コンクール、展示商談会の開催等を通じて、県産水産物やその加工品の魅力、産地の復興状況などの情報を発信しています。

計画における指標

いわて牛取扱い推奨店登録数（店舗）

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
280	300	324	達成【A】 (100%以上)	330

園芸作物（野菜・果樹）の事前契約取引率（%）

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
28	30	32	達成【A】 (100%以上)	36

米のオリジナル新品種販売数量（トン）

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
5,500	10,500	9,959	達成【B】 (80%以上 100%未満)	16,000

素材需要量（千m³）[再掲]

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
1,278	1,305	1,332	達成【A】 (100%以上)	1,346

水産加工事業者1社当たりの製造品出荷額（億円）

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②75.19	②95.35	5.61	達成【A】 (100%以上)	②5.83

■戦略的な県産農林水産物の輸出促進と外国人観光客等への対応

アジア各国や米国等への輸出拡大に向けて、国内商社と現地実需者とのネットワーク強化による販路の開拓に取り組んでいます。

また、各国・地域の食習慣やライフスタイル、所得水準などに対応した輸出ルートの開拓に取り組んでいます。

計画における指標

県産農林水産物取扱海外事業者数（社）

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
50	56	56	達成【A】 (100%以上)	65

■生産者と消費者の結び付きを深め、地域経済の好循環を創出する取組の推進

・市町村の地産地消促進計画の策定を支援し、産直による学校給食や医療・福祉施設等への食材供給などによる農林水産物の域内消費拡大に取り組んでいます。

・いわて地産地消給食実施事業所の認定、「いわて食財の日」等の取組を一層推進し、社員食堂や飲食店、家庭等での県産食材の利用拡大に取り組んでいます。

計画における指標

地産地消促進計画策定市町村数（市町村）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
26	29	29	達成【A】 (100%以上)	33

現状値は 2017 年の値

年間売上高 1 億円以上の産直数（施設）

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
40	42	42	達成【A】 (100%以上)	45

■温室効果ガス排出削減対策の推進

- ・事業所における環境マネジメントシステムの普及を図るほか、省エネルギー性能の高い設備・機器の導入や効率的なエネルギー管理の支援などにより、事業活動における低炭素化を推進しています。
- ・次世代自動車の普及や環境に配慮した自動車使用の促進、公共交通機関の利用促進を図るなど自動車交通における環境負荷の低減に取り組んでいます。

計画における指標

いわて地球環境にやさしい事業所認定数（事業所）

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
㊦202	212	245	達成【A】 (100%以上)	242

乗用車の登録台数に占める次世代自動車の割合（%）

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
14.8	19.1	18.9	達成【B】 (80%以上 100%未満)	25.7

■再生可能エネルギーの導入促進

- ・全国トップクラスにある再生可能エネルギーのポテンシャルを最大限に活用し、引き続き再生可能エネルギーの導入を促進しています。
- ・国の動向や技術開発の進展等も踏まえながら、岩手県水素利活用構想に基づき、再生可能エネルギーにより生成した水素の利活用や理解促進に取り組んでいます。
- ・災害にも対応できる自立・分散型エネルギー供給体制の構築に向けて、防災拠点や被災家屋への太陽光発電等の導入を促進するとともに、市町村等の地域のエネルギー供給体制の構築に向けた取組を支援しています。

計画における指標

再生可能エネルギー導入量（MW）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
1,046	1,269	1,444	達成【A】 (100%以上)	1,687

住宅用太陽光発電設備導入件数（件）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
25,634	27,800	29,145	達成【A】 (100%以上)	29,700

チップの利用量（BDt）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
230,809	231,700	229,064	遅れ【D】 (60%未満)	233,800

- チップの利用量は、熱利用や発電利用での活用に向け、木質バイオマスフォーラムの開催による普及啓発や木質バイオマスコーディネーターによる市町村等への技術指導などに取り組みましたが、発電施設における燃焼効率向上への取組によりチップ利用の効率化が進み、利用が抑えられたことなどからチップ利用量が減少したため、達成度は【D】となりました。

＜今後の方向＞

公共施設や産業分野への木質バイオマスボイラーの導入の促進や、木質燃料の安定的かつ継続的な供給に向けて取り組んでいく。

■地球温暖化に伴う気候変動の影響への適応

県民、事業者、市町村等を対象に、気候変動適応に関するセミナー等を開催し、理解促進に取り組んでいます。

計画における指標

気候変動対策に関する総合イベント参加者数（人）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
4,942	5,000	0	遅れ【D】 (60%未満)	20,000

- 気候変動対策に関する総合イベント参加者数〔累計〕は、令和元年東日本台風（台風第19号）が接近したことにより総合イベントが中止となったため、達成度は【D】となりました。

＜今後の方向＞

中長期的な地域気候変動適応計画について、次期地球温暖化対策実行計画に盛り込むとともに、シンポジウムの開催やテレビ広報などを通じて、気候変動適応に対する県民への理解促進に取り組めます。

施策項目 7 創業、円滑な事業承継の支援

【推進した施策】

- 商工指導団体や金融機関などの支援機関連携による事業承継の円滑化に向けた取組の促進
- 若者をはじめとする起業者や後継者の育成による経営人材の確保
- 多様なものづくりの風土の醸成 ○地域コミュニティ活動を支える人材の育成
- 岩手ファンの拡大と U・I ターンの促進
- 安心して移住し、活躍できる環境の整備 ○女性の活躍支援

【主な取組状況】

- 商工指導団体や金融機関などの支援機関連携による事業承継の円滑化に向けた取組の促進
 - ・中小企業者が行う事業承継に向けた準備を早期かつ計画的に進めるため、商工会、商工会議所などの商工指導団体が、金融機関等と連携して実施する事業承継診断や、経営者との対話・相談を促進しています。
 - ・中小企業者における親族や従業員等への事業承継を円滑に進めるため、商工会、商工会議所が中小企業者に密着し、事業承継計画の策定から事業承継後のフォローアップまで実施する継続的な取組を支援しています。

また、後継候補者がいない中小企業者に対しては、岩手県事業引継ぎ支援センター等の関係機関とのネットワークによる相談対応や事業引受希望者とのマッチングなどの取組を促進しています。

計画における指標

商工指導団体による事業承継診断を受けた企業数（企業）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
300	300	686	達成【A】 (100%以上)	1,200

事業承継の支援を受けた企業数（企業）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
807	800	1,163	達成【A】 (100%以上)	3,200

- 若者をはじめとする起業者や後継者の育成による経営人材の確保 [再掲]
(施策項目 1 を参照)

- 多様なものづくりの風土の醸成 [再掲]
(施策項目 5 を参照)

■地域コミュニティ活動を支える人材の育成

地域づくりの新たな担い手である地域おこし協力隊(※)が円滑に活動できるよう、スキルアップやネットワークづくりを支援するほか、地域おこし協力隊などを対象とした起業セミナーの開催などにより地域への定着を図っています。

※ 地域おこし協力隊

人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を通じて、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度。

計画における指標

地域おこし協力隊員数（人）

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
130	193	201	達成【A】 (100%以上)	230

地域おこし協力隊等を対象としたセミナー参加者数（人）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
160	250	281	達成【A】 (100%以上)	1,000

■岩手ファンの拡大とU・Iターンの促進

- ・移住希望者の多様なニーズに対応するため、首都圏に設置している移住と就職の一元的な相談窓口及び就職情報マッチングサイトの機能を強化しています。
- ・首都圏で活動している在京コミュニティと連携した交流イベント等の実施や、関係人口の優良事例の普及啓発により、岩手ファン・関係人口の拡大を図っています。
- ・「岩手U・Iターンクラブ」加盟大学などと連携して、就職相談やインターンシップのほか、岩手版ワーキングホリデーの推進等を図るとともに、農林水産業など各分野の人材確保の取組と連携したU・Iターン希望者への情報発信に取り組んでいます。

計画における指標

移住相談件数（件）

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
3,263	3,720	3,655	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	4,380

U・Iターン就職者数（人）〔再掲〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
794	3,160	2,455	やや遅れ【C】 (60%以上80%未満)	7,060

- U・Iターン就職者数〔累計〕は、首都圏に進学している学生と県内企業との交流会や岩手版ワーキングホリデーなどに取り組みましたが、米中貿易摩擦や消費増税による消費低迷等の影響により、建設業や製造業、卸売業・小売業の新規求人数が減少するなど、増加を想定していた県内の有効求人数が減少に転じたことに伴い、U・Iターン就職者数も想定を下回ったため、達成度は【C】となりました。

＜今後の方向＞

1 就職情報マッチングサイト

令和2年3月に開設した県の総合的な就職情報マッチングサイト「シゴトバクラシバいわて」において求職者が登録した資格や経験をもとに、求人企業からアプローチすることができる「リクエスト機能」の活用を促進し、U・Iターン就職者の増加につなげていく。

2 首都圏相談窓口における職業紹介等

令和元年度末に就職情報サイトを「シゴトバクラシバいわて」に一元化したことから、首都圏のU・Iターン就職等相談窓口である「岩手県U・Iターンセンター」及び「いわて暮らしサポートセンター」においてサイトへの登録求職者数の増加に取り組むほか、「岩手県U・Iターンセンター」においてマッチングサイトを介した無料職業紹介の増加に取り組む。

3 岩手県出身県外大学生等応援事業

R2年度6月補正予算に計上した「岩手県出身県外大学生等応援事業費」により、岩手県出身の県外大学生等に岩手県内での就職活動にかかる交通費・宿泊費を支援しながら、「いわてU・Iターンサポートデスク」と連携し、令和2年度以降のU・Iターン就職者の増加につなげていく。

■安心して移住し、活躍できる環境の整備

・市町村や関係団体、NPOなどの官民が連携した移住推進体制の強化を図るとともに、企業立地等に伴う移住者を含め、地域で移住者を受け入れるためのサポート体制の整備に取り組んでいます。

・仕事に関する情報発信の強化や、起業の促進などにより、若者や女性の県内への移住推進を図るとともに、地域おこし協力隊などを対象とした起業セミナーの開催などにより地域への定着を図っています。

計画における指標

移住コーディネーター、定住支援員等を配置している市町村数（市町村）

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
9	17	21	達成【A】 (100%以上)	33

地域おこし協力隊等を対象としたセミナー参加者数（人）

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
160	250	281	達成【A】 (100%以上)	1,000

■女性の活躍支援 [再掲]

(施策項目9を参照)

施策項目 8 小規模企業者への支援

【推進した施策】

- 中小企業者が行う経営力の強化や生産性の向上、新たな事業活動などの取組の促進
- 商工指導団体や金融機関などの支援機関連携による事業承継の円滑化に向けた取組の促進
- 若者をはじめとする起業者や後継者の育成による経営人材の確保
- 企業のライフステージに対応した切れ目のない金融支援
- 市町村や商店街をはじめとする多様な主体の連携によるまちのにぎわい創出
- 食産業の新たな事業活動の取組や販路開拓への支援
- 水産加工業の商品力向上や販路開拓、生産性向上への支援
- 伝統工芸産業、漆産業、アパレル産業の経営力向上への支援

【主な取組状況】

- 中小企業者が行う経営力の強化や生産性の向上、新たな事業活動などの取組の促進 [再掲]
(施策項目 2 を参照)
- 商工指導団体や金融機関などの支援機関連携による事業承継の円滑化に向けた取組の促進 [再掲]
(施策項目 7 を参照)
- 若者をはじめとする起業者や後継者の育成による経営人材の確保 [再掲]
(施策項目 1 を参照)
- 企業のライフステージに対応した切れ目のない金融支援 [再掲]
(施策項目 3 を参照)
- 市町村や商店街をはじめとする多様な主体の連携によるまちのにぎわい創出 [再掲]
(施策項目 2 を参照)
- 食産業の新たな事業活動の取組や販路開拓への支援 [再掲]
(施策項目 6 を参照)
- 水産加工業の商品力向上や販路開拓、生産性向上への支援 [再掲]
(施策項目 2 を参照)
- 伝統工芸産業、漆産業、アパレル産業の経営力向上への支援 [再掲]
(施策項目 6 を参照)

施策項目 9 雇用環境の整備に対する支援等

【推進した施策】

- 働き方改革の取組の推進 ○仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進
- いきいきと働き続けるための健康づくりの推進
- 県内就業の促進及び U・I ターンによる人材確保の推進
- 女性・若者・障がい者などへの職業能力開発の支援 ○安定的な雇用の促進
- 雇用・労働環境の整備の促進 ○子育てと仕事の両立を図る家庭への支援
- 障がいなどに応じた多様な就労の場の確保や、就労に向けた支援

○生涯を通じた健康づくりの推進

○結婚・家庭・子育てに希望を持てる環境づくりの推進 ○女性の活躍支援

【主な取組状況】

■働き方改革の取組の推進

- ・いわてで働こう推進協議会を核とした「いわて働き方改革推進運動」の展開により、長時間労働の是正、年次有給休暇の取得率向上、完全週休2日制普及等の働き方改革の取組を推進しています。
- ・休暇制度や各種手当などの雇用・労働環境の改善について、岩手労働局と連携し、産業関係団体への要望活動や国の各種助成制度等の普及啓発を行っています。

計画における指標

いわて働き方改革推進運動参加事業者数（事業者）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
128	400	319	やや遅れ【C】 (60%以上 80%未満)	1,000

- いわて働き方改革推進運動参加事業者数〔累計〕は、ジョブカフェいわてと連携した周知のほか、参加手続の簡素化を図るなど応募促進に取り組みましたが、事業所数の多い製造業をはじめ卸売業・小売業や医療・福祉の業種、県南地域の企業において、働き方改革の必要性や取組内容への理解が十分浸透しなかったため、応募が伸びなかったこと、また、企業の人手不足等の事情もあり応募に結びつかなかったことから、達成度は【C】となりました。

<今後の方向>

- 1 事業周知の見直し
 - 新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえ、テレワークの導入等についても普及啓発を行います。
 - 他の商工関係の会合等、企業関係者が集まる場で事業の周知を行う等、より幅広い周知を行います。
- 2 取組優良事例への補助等
 - いわて働き方改革等推進事業費補助
県内企業における「働き方改革」等の取組を推進し、魅力ある雇用・労働環境の整備を図るため、企業が行う働き方改革の取組に要する経費について引き続き補助します。
【R2は、補助企業を8件（R1+2件）に拡充】
 - 補助金の応募要件に、いわて働き方改革推進事業への参加を追加することで、参加事業者数の増加を図ります。
- 3 地域や業種に応じたアプローチ
各広域振興局（産業振興室）等と連携し、地域や業種の実情や特徴を踏まえた参加事業者増加の取組を実施します。

年次有給休暇の取得率（%）

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
48.7	③56.0	49.5	遅れ【D】 (60%未満)	③75.0

- 年次有給休暇の取得率は、有効求人倍率が長期間にわたり高い水準で推移するなど人手不足の傾向が続いており、従業員の仕事方改革に十分に取組みなかつたと推察され、達成度は【D】となりました。

＜今後の方向＞

- 1 国や関係機関と連携した取組
 - 「いわてで働こう推進協議会」を核として、県内企業における休暇取得促進や長時間労働の是正など、「働き方改革」を推進する運動を展開します。
 - いわて働き方改革アワードの実施
長時間労働の是正や年次有給休暇の取得促進等の「働き方改革」の取組を表彰し、県内企業などに広く普及啓発します。
 - 岩手労働局と連携し、有給休暇の取得促進に係る普及啓発に、引き続き取り組めます。
- 2 優良事例への補助等
いわて働き方改革等推進事業費補助
県内企業における「働き方改革」等の取組を推進し、魅力ある雇用・労働環境の整備を図るため、企業が行う働き方改革の取組に要する経費について、引き続き補助します。

■仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進

- ・セミナー開催や助成金のPRを行うなど、育児休業制度・介護休業制度の普及を促進します。
- ・仕事と子育ての両立支援などに取り組む企業等の表彰・認証の促進などにより、子育てにやさしい職場環境づくりを支援します。

計画における指標

いわて子育てにやさしい企業等認証の認証数（事業者）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値（R4）
65	165	148	達成【B】 (80%以上100%未満)	315

■いきいきと働き続けるための健康づくりの推進〔再掲〕

■県内就業の促進及びU・Iターンによる人材確保の推進

- ・若者に県内の仕事や企業について理解を深めてもらうため「いわてで働こう推進協議会」を中心に、中高生向けの出前授業や、高校生及び保護者への企業説明会、高校生と県内若手社員との交流会の実施などに取り組みました。
- ・ジョブカフェいわて及び地域ジョブカフェ等を拠点として、キャリアカウンセリングや研修等により若者等の就職活動や職場定着を支援しました。
- ・若者の早期離職の防止のため、企業の育成担当者の育成スキル向上のためのセミナーを開催したほか、新たに、「いわて働き方改革アワード」に「人材確保・定着部門」を創設し、優良な取組を行った企業を表彰するなど、県内企業における人材育成や職場定着の普及啓発などに取り組みました。
- ・学生等のU・Iターン就職を促進するため、インターンシップや就職情報マッチングサイト及び首都圏の相談窓口を核とした就職活動等への支援を強化しています。

計画における指標

高校生の県内企業の認知度割合 (%)

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
50.8	75.4	67.0	C	100.0

- 高校生の県内企業の認知度割合は、「いわてで働こう推進協議会」を中心に、企業ガイダンスや若手社員等との交流会の実施校を増やすなど、県内就業に向けた意識改革や県内企業の認知度向上に取り組みましたが、「県内に本社を持つ企業」に関する取組が十分でなかったことから、達成度は【C】となりました。

ジョブカフェ等のサービスを利用して就職決定した人数 (人) [累計]

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
2,052	2,100	2,103	達成【A】 (100%以上)	8,400

高卒者3年以内の離職率 (%)

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
38.8	37.2	-	-	35.0

- 高卒者3年以内の離職率は、実績値が未確定であるため、測定できませんでした。なお、令和元年度においては、就業支援員やキャリアカウンセラーによる職場定着支援、企業の育成担当者セミナーの開催に加え、新たに、「いわて働き方改革アワード」に「人材育成・定着部門」を創設し、優良な取組を行った企業を表彰するなどの普及啓発に取り組みました。

U・Iターン就職者数 (人) [累計]

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
794	3,160	2,455	やや遅れ【C】 (60%以上 80%未満)	7,060

- U・Iターン就職者数〔累計〕は、首都圏に進学している学生と県内企業との交流会や岩手版ワーキングホリデーなどに取り組みましたが、米中貿易摩擦や消費増税による消費低迷等の影響により、建設業や製造業、卸売業・小売業の新規求人数が減少するなど、増加を想定していた県内の有効求人数が減少に転じたことに伴い、U・Iターン就職者数も想定を下回ったため、達成度は【C】となりました。

<今後の方向>

1 就職情報マッチングサイト

令和2年3月に開設した県の総合的な就職情報マッチングサイト「シゴトバクラシバいわて」の主知や活用促進を図り、U・Iターン就職者の増加につなげていきます。

2 首都圏相談窓口における職業紹介等

就職情報サイト「シゴトバクラシバいわて」への登録求職者数の増加に取り組むほか、首都圏のU・Iターン就職等相談窓口である「岩手県U・Iターンセンター」においてマッチングサイトを介した無料職業紹介の増加に取り組む。

3 岩手県出身県外大学生等応援事業

「岩手県出身県外大学生等応援事業費」により、岩手県出身の県外大学生等の県内での就職活動を支援しながら、「いわてU・Iターンサポートデスク」等の就職情報窓口と連携し、U・Iターン就職者の増加につなげていく。

■女性・若者・障がい者などへの職業能力開発の支援

- ・育児に配慮した託児サービス付き訓練を実施するなど、女性の再就職を支援するとともに、就職につながりやすい国家資格の取得を目指す訓練コースなど、雇用情勢や産業政策、企業ニーズを踏まえた職業訓練等の就業支援を実施しています。
- ・障がい者の態様に応じた多様な訓練を実施し、障がい者の就職を支援しています。
- ・在職者の技能向上を促進するため、企業ニーズを踏まえた在職者訓練を実施するとともに、職業能力開発に関する情報提供、相談・援助を行っています。
- ・高度な技能を継承する技能者を育成するため、全国レベルの競技大会への参加やものづくりマイスター制度の活用を促進するとともに、技能検定制度等の職業能力評価制度の普及を促進しています。
- ・県立職業能力開発施設において、時代の変化や地域社会のニーズに対応した体制整備を推進し、将来の本県産業を担う人材を育成するとともに、就職を希望する学生の県内就職を促進しています。

計画における指標

離職者等を対象とした職業訓練の女性受講者の就職率 (%)

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
㊸79.7	㊹84.0	76.6	達成【B】 (80%以上 100%未満)	㊹84.0

離職者等を対象とした職業訓練の受講者の就職率 (%)

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
㊸77.1	㊹80.0	76.9	達成【B】 (80%以上 100%未満)	㊹80.0

障がい者委託訓練の受講者の就職率 (%)

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
56.0	61.2	55.0	遅れ【D】 (60%未満)	69.0

- 障がい者委託訓練の受講者の就職率は、就労を希望する障がい者が、本訓練のほか国や他の機関の障がい者就業支援制度の中からニーズに合う制度を選択しており、令和元年度は、本訓練の受講者は就業の困難度が高い者が多かったことから、達成度は【D】となりました。

<今後の方向>

引き続き、訓練制度の周知や実習先の確保に努めるとともに、関係機関との連携を図り訓練修了後のフォローアップを丁寧に行いながら、障がい者の特性等に応じた訓練を実施し、訓練者の就職を支援します。

技能検定合格者数 (%)

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
1,221	1,270	1,252	やや遅れ【C】 (60%以上 80%未満)	1,345

- 技能検定合格者数については、若年層の受検料負担軽減を図るため、平成29年度後期から減免措置を開始し、受検しやすい環境を作り、若年層の受検者数の確保に取

り組んできたところですが、学生や若手技術者への周知等の取組が十分でなく、受検者増につながらなかったため、合格者数は近年において最大となったものの、目標に達せず、達成度は【C】となりました。

＜今後の方向＞

- 国・職業能力開発協会と連携した周知・啓発
 - ・ 国が作成したパンフレットを教育機関や企業等に配布し、技能検定制度の周知を図るとともに、高校や県立職業能力開発施設等の学生の他、若手技術者の積極的な受検を喚起します。
また、若年層の受検料の負担を軽減する「受検料の減免措置」についても、一層の周知を図り、若年層の受検者の確保につなげていきます。
 - ・ 製品の生産性の向上や品質の維持、高い技術力の証明等、技能検定合格者である技能士活用のメリットについて引き続き企業にPRし、受検者の確保につなげていきます。

県立職業能力開発施設における県内企業への就職率（％）

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
63.4	70.0	58.7	遅れ【D】 (60%未満)	75.0

- 県立職業能力開発施設における県内企業への就職率については、例年実施している県内企業説明会の実施回数を増やす等、県内就職率向上のための取組を強化してきたところですが、より良い条件の県外の大手企業などに学生が流れてしまったため、達成度は【D】となりました。

＜今後の方向＞

引き続き、学生個人の興味、希望を踏まえながら県内企業との接点を増やし、県内企業に興味を持って就職活動に取り組むことができるよう支援していきます。

■安定的な雇用の促進

- ・ いわてで働こう推進協議会を中心に、安定的な雇用に向けた企業活動の支援や、医療・福祉分野における人材確保など、各分野での安定的な雇用確保の取組を推進しました。
- ・ 岩手労働局と連携し、求人の正社員化による安定的な雇用の確保や非正規労働者の正社員転換・待遇改善について、施策の周知を行うとともに、経済団体への要請活動を行いました。

計画における指標

高卒者の正社員求人割合（％）

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
94.9	95.7	96.4	達成【A】 (100%以上)	96.6

正社員就職・正社員転換数（人）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
12,112	13,200	10,789	達成【B】 (80%以上100%未満)	52,800

■雇用・労働環境の整備の促進 [再掲]

■子育てと仕事の両立を図る家庭への支援 [再掲]

■障がいなどに応じた多様な就労の場の確保や、就労に向けた支援

- ・障がい者が地域において能力を発揮し、自立した生活ができるよう、障害者就業・生活支援センターや就労移行支援事業所等を通じて就労先の確保や一般就労への移行及び就労後の職場定着を支援しています。
- ・第1次産業が盛んである本県の特徴を生かし、関係機関・団体との連携により、農福連携の取組を促進しています。

計画における指標

農業に取り組んでいる就労継続支援A型事業所の割合 (%)

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
57	59	58	遅れ【D】 (60%未満) ※	63

※ $(58-57) / (59-57) \times 100 = 50$: 60%未満 [D]

- 農業に取り組んでいる就労継続支援A型事業所の割合は、農林水産業者と就労継続支援事業所等とのマッチング支援等に取り組みましたが、障がい特性と作業内容との調整の困難さなどから、農業に取り組む事業所数が見込を下回ったため、達成度は【D】となりました。

■生涯を通じた健康づくりの推進

健康経営の取組の促進などにより、いきいきと働き続けるための健康づくりに取り組んでいます。

計画における指標

健康経営宣言事業所数 (事業者) [累計]

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
625	800	1,101	達成【A】 (100%以上)	1,100

■結婚・家庭・子育てに希望を持てる環境づくりの推進

社会全体で結婚や子育てを支援する機運の醸成に向け、企業等による支援活動が促進されるよう、「いわて子育て応援の店」、「いわて結婚応援の店」の協賛店の拡充を進めています。

計画における指標

「いわて子育て応援の店」協賛店舗数 (店舗) [累計]

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
1,845	2,027	1,969	やや遅れ【C】 (60%以上 80%未満)	2,300

- 「いわて子育て応援の店」協賛店舗数 [累計] は、制度周知に努めたほか、企業への個別訪問による働きかけを行うなど、新規登録店舗数の拡大に取り組みましたが、企業の理解を得るには至らず、達成度は【C】となりました。

＜今後の方向＞

「未来のいわてを担う子どもたちを育てている家庭を社会全体で支えていく」という制度の趣旨について理解が得られるよう一層の周知を図っていくほか、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により客足が回復していない企業に対しては、協賛店舗登録が、子育て世帯に対してのアピールポイントになることを積極的に周知し、登録を促進します。また、県内に複数店舗を展開している企業や商店街組合等への働きかけを強化します。

■女性の活躍支援等

- ・女性の職業生活における活躍を推進するため、女性の職業能力開発や就業支援などを行うとともに、関係団体と緊密に連携し、情報共有や意見交換を行うなど業種を越えた活躍する女性のネットワークづくりを進めています。
- ・いわて女性活躍推進員の配置により、いわて女性活躍企業等認定制度を更に普及するなど、女性が活躍できる職場環境づくりを促進しています。

計画における指標

えるぼし認定企業・いわて女性活躍認定企業等数（社）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
15	120	150	達成【A】 (100%以上)	240

女性のエンパワーメント研修（ロールモデル提供事業）受講者数（人）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
㊸227	337	329	達成【B】 (80%以上 100%未満)	517

経営者研修受講者数（人）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
㊸340	410	401	達成【B】 (80%以上 100%未満)	620

施策項目 10 消費の促進等

【推進した施策】

- 県産品の販路の拡大への支援
- 県内事業者の海外展開への支援
- 「観光で稼ぐ」地域づくりの推進
- 質の高い旅行商品の開発・売込み
- 外国人観光客の誘客拡大
- 売れる観光地をつくる体制の整備促進
- いわて花巻空港を核とした交流人口の拡大
- 地域公共交通の利用促進
- 民俗芸能など伝統文化を生かした交流の推進
- スポーツを活かした人的・経済的な交流の推進
- 食の信頼向上の推進

【主な取組状況】

■県産品の販路の拡大への支援

アンテナショップ（東京、大阪、福岡）をはじめ、首都圏等における物産展や展示販売会、復興支援のつながりから生まれた催事等の販売機会の確保に努め、消費者ニーズの把握や効果的な情報発信により販路の拡大を図っています。

計画における指標

アンテナショップ（東京）の新規成約件数（件）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
26	25	21	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	100

アンテナショップ（東京、大阪、福岡）における県産品販売額（百万円）

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
631	690	606	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	690

■県内事業者の海外展開への支援

- ・各支援機関や海外事務所と連携しながら、戦略策定、商談、貿易実務等への一貫した支援や、専門家による個別相談、セミナー等の開催などにより、世界の市場に挑む県内事業者を支援しています。
- ・県内事業者の海外展開の意欲を更に高めながら、国内外の商談会・展示会への出展、バイヤー招聘等により、県産品の輸出拡大を図っています。
- ・これまで構築した国内外の商社等ビジネスパートナーとのネットワークを活用し、取引を継続・拡大するとともに、現地ニーズに対応した商品開発等を促進しています。

計画における指標

県産品輸出額（加工食品・工芸品）（百万円）

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
801	880	599	遅れ【D】 (60%未満)	1,000

- 県産品輸出額は、加工食品のうち日本酒が増加しているものの、南部鉄器等他の品目の減少の影響により、達成度は【D】となりました。

<今後の方向>

新型コロナウイルス感染症の影響により、海外との往来を伴う見本市の出店等が困難となっていることから、オンラインを活用した商談機会の創出や海外事務所を起点とした現地ネットワークとの連携等により、事業者の海外展開を支援します。

海外商談会等における出展企業数（者）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
54	60	55	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	240

海外商談会等における商談成約等件数（件）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
13	30	50	達成【A】 (100%以上)	120

■「観光で稼ぐ」地域づくりの推進

- ・地場産品や農林水産物を活用した観光コンテンツの磨き上げや売込みを行うことにより、地域における観光消費の拡大と地場産品の販路拡大につないでいます。
- ・高田松原津波復興祈念公園、東日本大震災津波伝承館、震災遺構、被災体験の語り部、三陸復興公園、みちのくしおかぜトレイル、三陸ジオパーク、三陸鉄道など、被災地域の固有のコンテンツを効果的に情報発信し、これらを活用した復興ツーリズムなどの促進を図っています。

計画における指標

観光消費額単価（日本人・県外・宿泊）（千円）

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
33.1	34.2	31.3	遅れ【D】 (60%未満)	36.0

- 観光消費額単価(日本人・県外・宿泊)は、観光キャンペーン「いわて幸せ大作戦！！」の展開などに取り組んだ結果、県外宿泊者一人当たりの平均宿泊数が基準年と比較して0.23泊増加したが、より価格の高い旅行商品への消費誘導につながらなかったことなどが影響し、達成度は【D】となりました。

<今後の方向>

観光事業者だけでなく、農林水産、文化、スポーツなどの多様な分野の参画による「観光で稼ぐ」地域づくりに継続して取り組み、観光コンテンツの開発・磨き上げの促進、プロモーションの強化、受入環境整備の促進などを通じて、より価格の高い旅行商品への消費誘導を図ります。

観光消費額単価（外国人・宿泊）（千円）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
44.4	46.6	53.8	達成【A】 (100%以上)	49.9

三陸DMOセンターとの連携による、沿岸地域での観光コンテンツの新規商品化数
(件)〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
-	3	9	達成【A】 (100%以上)	13

■質の高い旅行商品の開発・売込み

- ・2つの世界遺産や2つの国立公園など、「岩手ならではの」のコンテンツに高品質な「食」、「宿」などを組み合わせた高付加価値型の旅行商品造成を促進しています。
- ・三陸防災復興プロジェクト 2019 の開催を契機として、三陸鉄道と三陸の食、自然、体験を組み合わせた沿岸縦断型の宿泊旅行商品、震災学習や食などをテーマとした高付加価値型の旅行商品の造成・販売を促進し、「観光で稼ぐ三陸」のモデルを構築しています。

計画における指標

宿泊者数（延べ人数・全施設）（万人泊）

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
607.6	617.1	627.7	達成【A】 (100%以上)	628.1

本県観光に対する満足度が極めて高い人の割合（全体）（%）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
43.6	46.2	26.5	遅れ【D】 (60%未満)	50.0

- 本県観光に対する満足度が極めて高い人の割合（全体）は、体験プログラム・イベント等への参加や三陸の人との交流において目標を達成しているものの、買い物、まち歩き、被災地見学、食などにおいて大変満足した人の割合が3割に到達しておらず、達成度は【D】となりました。なお、「大変満足」と答えた人に「満足」、「やや満足」と答えた人を加えた割合は94.6%と平成30年に比べて2.9ポイント増加しています。

<今後の方向>

本県が有する2つの世界遺産や国立公園などの観光コンテンツの開発・磨き上げや、早朝観光やナイト観光のコンテンツなどを組み合わせた周遊ルートのプロモーションや旅行商品の造成促進などに取り組むとともに、特に沿岸地域においては、三陸の食・自然・体験に加え、三陸鉄道や復興道路などの新たな交通ネットワークを生かしながら、本県観光に対する満足度向上に取り組めます。

三陸DMOセンターと連携して、高付加価値型旅行商品向け観光コンテンツの企画を行うプランナー数（人）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
-	3	8	達成【A】 (100%以上)	13

■外国人観光客の誘客拡大

- ・SNSなどを活用した情報発信により、海外の消費者に直接本県の魅力をPRするとともに、旅行会社へのプロモーションを展開し、東北への誘客拡大を本県への入込み、特に宿泊者数の増加につなげています。
- ・外国人個人旅行者（FIT）の誘客を図るため、無料公衆無線LAN LAN65、キャッシュレス決済などの情報通信技術（ICT）環境整備や、案内表示の多言語対応、施設のバリアフリー化などの受入環境整備を促進し、受入環境に関する情報を積極的に発信しています。

計画における指標

外国人宿泊者数（延べ人数・全施設）（万人泊）

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
18.8	28.3	34.4	達成【A】 (100%以上)	39.3

外国人観光客等受入態勢新規整備施設数（施設）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
40	28.3	29.8	達成【A】 (100%以上)	39.3

■売れる観光地をつくる体制の整備促進

地域の観光産業を持続的に発展させていくため、マーケットインの視点を持ち、地域資源を磨き上げ、観光資源としてその価値を創造し、魅力的な観光地づくりにつなげていく観光産業をけん引する人材の育成を支援しています。

また、宿泊・観光施設等におけるお客様の視点に立ったサービス向上を図るため、ホスピタリティ（おもてなしの心、接客スキルなど）を身に付けた人材の育成を支援しています。

計画における指標

本県への再来訪意向を持つ人の割合（％）

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
80.1	84.0	72.8	遅れ【D】 (60%未満)	90.0

- 本県への再来訪意向を持つ人の割合は、平成30年と比べて5.8ポイント増加したものの、本県観光に対する満足度の調査において、買い物、まち歩き、被災地見学、食などにおいて大変満足した人の割合が3割に到達していないことなどが、再来訪意向を持つ人の割合を減少させたと考えられ、達成度は【D】となりました。

＜今後の方向＞

来訪者に対する様々なコンテンツを岩手県観光ポータルサイト「いわての旅」やツイッター、フェイスブックなどのSNS等を通じて情報発信することで、リピーターの増加につなげる。

また、食や体験プログラムについてはリピートにつながりやすい傾向にあることから、これらの観光コンテンツの磨き上げを強化することで、再来訪意向の向上につなげていきます。

人材育成研修受講者数（延べ）（人）

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
297	300	370	達成【A】 (100%以上)	1,200

■いわて花巻空港を核とした交流人口の拡大

- ・観光目的、ビジネス目的の両方の空港利用者のニーズを踏まえて、国内線の路線、便数の維持・拡充やダイヤ改善等を航空会社に継続的に働きかけるとともに、旅客数、利用率が伸び悩む冬季を中心に年間を通じた利用促進に取り組んでいます。
- ・海外との定期便就航・チャーター便などの運航拡大に向けて、官民一体となって航空会社や旅行会社へのPRやエアポートセールスを展開しています。
- ・国際線の利用客の増加に向けて、県民のパスポート取得助成などに取り組んでいます。

- ・ 空港アクセスの改善など空港利用者の利便性向上に取り組んでいます。

計画における指標

いわて花巻空港の航空旅客数（千人）

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
441	507	486	やや遅れ【C】 (60%以上 80%未満)	534
内訳	内訳	内訳		内訳
(国内)	(国内)	(国内)		(国内)
421	453	442		453
(国際)	(国際)	(国際)	(国際)	(国際)
20	54	44		81

- いわて花巻空港の航空旅客数は、新型コロナウイルス感染症の影響による航空需要の減少等に伴い、特に、令和2年2月以降の利用者が大きく減少したため、達成度は【C】となりました。

<今後の方向>

新型コロナウイルス感染症の影響により大きく減少した航空需要の回復が図られるよう、航空会社や旅行会社と連携し、旅行商品の造成支援などによる利用促進策に取り組めます。また、国際線の早期運航再開が実現するよう、航空会社へのトップセールスをはじめ、運行支援の提案などによる働きかけを強化するほか、運航再開後の持続・安定的な運航に向け、運航支援や利用促進プロモーション等に取り組めます。

国内定期便の利用率（%）

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
66.4	68.5	66.1	遅れ【D】 (60%未満)	68.5

- 国内定期便の利用率は、新型コロナウイルス感染症の影響による航空需要の減少等に伴い、3月は全路線で利用者が大きく減少したため、達成度は【D】となりました。

<今後の方向>

新型コロナウイルス感染症の影響により大きく減少した航空需要の回復が図られるよう、航空会社や旅行会社と連携し、旅行商品の造成支援などによる国内線の利用促進に取り組めます。

国際線の運航回数（回）

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
165	440	375	やや遅れ【C】 (60%以上 80%未満)	628

- 国際線の運航回数は、新型コロナウイルス感染症の影響による航空需要の減少等に伴い、令和2年2月以降、国際定期便が計46便の運休(台北線は3/4～3/28、上海線は2/8～3/28)となったため、達成度は【C】となりました。

<今後の方向>

国際線の早期運航再開が実現するよう、航空会社へのトップセールスをはじめ、運行支援の提案などによる働きかけを強化するほか、運航再開後の持続・安定的な運航に向け、運航支援や利用促進プロモーション等に取り組めます。

国際線の利用率 (%)

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
68.7	72.3	66.7	遅れ【D】 (60%未満)	76.3

- 国際線の利用率は、新型コロナウイルス感染症の影響による航空需要の減少等に伴い、特に、2月の利用者が大きく減少したため、達成度は【D】となりました。

<今後の方向>

国際線の早期運航再開が実現するよう、航空会社へのトップセールスをはじめ、運行支援の提案などによる働きかけを強化するほか、運航再開後の持続・安定的な運航に向け、運航支援や利用促進プロモーション等に取り組みます。

■地域公共交通の利用促進

- ・ 県、沿線市町村等で構成される利用促進協議会などを通じて、マイレール意識を醸成するなど、モビリティ・マネジメントの活用により県民意識の変化を促しながら地元利用の促進を図っています。
- ・ 三陸防災復興プロジェクト 2019などを契機とし、三陸鉄道「リアス線」としての一貫運行のメリットや地域の観光資源を生かした企画列車の運行など、県内外からの誘客に向けた魅力ある商品造成及び情報発信の強化に対する支援を行いました。

計画における指標

I G Rいわて銀河鉄道の年間利用者数 (万人)

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
523	525	510	遅れ【D】 (60%未満) ※	510

※ $(510-523) / (525-523) \times 100 = \Delta 650 : 60\% \text{未満} [D]$

- I G Rいわて銀河鉄道の年間利用者数は、令和元年東日本台風（台風第19号）による運休、暖冬の影響、新型コロナウイルス感染症に伴う休校措置等による影響により、達成度は【D】となりました。

<今後の方向>

県・沿線市町・I G Rが連携した利用促進策を講じ、地元利用の拡大を図ります。
 県・沿線市町のSNS等広報媒体を活用したI G Rの情報発信等を通じ、同社の営業活動と企画展開を支援していきます。

三陸鉄道の年間利用者数 (万人)

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
52	120	91	遅れ【D】 (60%未満)	110

- 三陸鉄道の年間利用者数は、令和元年東日本台風（台風第19号）による運休、新型コロナウイルス感染症に伴う団体旅行のキャンセルや休校措置等による影響により、達成度は【D】となりました。

＜今後の方向＞

県内客・少人数客をターゲットとし、沿線や県内内陸からの誘客施策に取り組みます。
三陸防災復興プロジェクト2019 後継事業として、地域資源を生かした企画列車や、沿線でのシバザクラ植栽活動による新たな車窓風景の創出に取り組みます。

■民俗芸能など伝統文化を生かした交流の推進

民俗芸能など伝統文化を生かした交流人口の拡大を図るため、市町村や民俗芸能団体と連携し、訪日外国人等向けに本県が誇る民俗芸能の魅力を発信するなど、観光分野をはじめとした幅広い分野への活用を進めています。

計画における指標

観光客数（歴史・文化に係る観光地点での入込客数）（千人）

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
3,325	3,345	3,455	達成【A】 (100%以上)	3,375

■スポーツを生かした人的・経済的な交流の推進

・スポーツによる交流人口の拡大を図るため、いわてスポーツコミッションを中心に様々なスポーツ大会・合宿等の誘致に取り組みます。特に、ラグビーワールドカップ2019™の会場となった釜石鶴住居復興スタジアムにおいて、これまでの国内外とのつながりや三陸防災復興プロジェクト2019などのレガシーを継承し、スポーツイベントを展開しています。

・スポーツを活かした経済的な交流の拡大を図るため、産学官連携により、スポーツ関連の製品、技術、サービスなどの共同研究・開発に向けた取組を促進しています。

計画における指標

スポーツ大会・合宿・イベントの参加者数（人）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
130,000	166,000	187,809	達成【A】 (100%以上)	594,000

■食の信頼向上の推進

食の安全・安心に関するリスクコミュニケーション(※1)を開催し、県民における食品の安全性の理解を促進し、安心感を醸成することにより、食の信頼向上を進めています。

また、HACCP(※2)制度化に向けて、食品営業者に対するHACCPの普及と岩手版HACCP(※3)からの円滑なシフトに取り組みます。

計画における指標

食の安全安心に関する講座型リスクコミュニケーションの延べ受講者数（人）〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
③090	100	80	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	400

HACCP(※2)導入に関する講習会の受講者数(人)〔累計〕

H29 現状値	R1 目標値	R1 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
1,347	1,800	3,937	達成【A】 (100%以上)	7,200

※1 リスクコミュニケーション

社会を取り巻くリスクに関する正確な情報を、行政、専門家、企業、市民などの利害関係者である関係主体間で共有し、相互に意思疎通を図ること。

※2 HACCP

「Hazard Analysis and Critical Control Point」の頭文字の略語で「危害分析重要管理点」ともいい、食中毒等の食品に起因する事故の発生を未然に防止するため、食品の製造における危害を分析し、重要な工程を連続的に管理することによって、一つ一つの製品の安全性を保証しようとする食品の衛生管理手法のひとつである。

※3 岩手版HACCP

HACCP本来の手法の導入が難しい小規模施設等であっても、HACCPの考え方に基づく衛生管理に取り組んでもらえるよう、それぞれの業態に合った、温度管理を中心とする重要管理点(1～5項目)を県があらかじめ示し、定期的な温度等の確認と結果の記録を行うなどの衛生管理を実践することにより、HACCPの考え方の普及を図る本県の取組。なお、県では、平成12年度から「HACCPシステム導入促進事業」を実施し、「岩手版HACCP」の導入を促進している。